



▲展示会場は弘前大学人文学部総合教育棟2階。期間中は無休（入場無料）。弘前駅前からタクシーで5分。バス利用の場合、3番乗り場から小栗山線に乗車、「弘前大学前」下車



▲向様田遺跡と二重鳥遺跡から出土したさまざまな形の土偶。土偶とは人形をした土製の焼き物で、多くは女性を表していると言われています。縄文時代の早期に出現し、亀ヶ岡文化に代表される縄文後・晩期に最も発達し、様式化した各種の土偶が登場しました

▼漆下遺跡から出土した、漆が底に残った状態の器（下）や、漆が塗られた土器（右の写真の一部）



▲桂ノ沢遺跡から出土した最大級の遮光器土偶



▲笑っているように見える「笑う岩偶」（白坂遺跡出土）

■市内の縄文遺跡出土の土器・土偶などを展示

ミニ特別展「森吉山麓の亀ヶ岡文化」

◇開催期間は11月10日まで 弘前大学人文学部亀ヶ岡文化研究センター

青森県の弘前大学人文学部付属亀ヶ岡文化研究センター展示室で10月10日から、ミニ特別展「森吉山麓の亀ヶ岡文化」が始まり、本市の縄文遺跡から出土した精

巧な土器や石器、遮光器土偶などの出土品が考古学ファンらの関心を集めています。北秋田市民でも目にする機会のないものも多く、展示会のようすをご紹介します。



独特の形の頭部などが縄文時代へのロマンをかきたてる遮光器土偶※（向様田遺跡出土）※北方系の一部の民族が雪中の光除けに着用する「遮光器」に似ていること由来

白坂、向様田、二重鳥ほか森吉山麓に位置する縄文遺跡の出土品を展示

この展示会は、森吉山ダムの建設に伴う発掘調査によって明らかになった森吉地区の亀ヶ岡文化を紹介するもので、向様田遺跡、二重鳥遺跡、桂ノ沢遺跡、白坂遺跡などの出土品や発掘状況の写真など500点以上が展示されています。

「亀ヶ岡文化」とは、縄文時代晩期（約3千年前〜2千3百年前）に北海道渡島半島から東北一円にかけて盛行した文化のこと。青森県亀ヶ岡遺跡から出土した土器にちなんでこう呼ばれています。北秋田市周辺では、藤株遺跡、麻生遺跡、「笑う岩偶」が出土した白坂遺跡、そしてダム建設で発掘調査が

れ、精巧な土器・土偶、仮面、岩版、石棒・石剣、漆製品、装身具など豊かな文物が出土しているのが特徴です。

「笑う岩偶」、大型小型の遮光器土偶、「漆」が底に残った状態の器なども

今回の展示会では、白坂遺跡出土の「笑う岩偶」をはじめ、大型・小型の遮光器土偶、漆下遺跡から出土した「漆」が底に残っている状態の器なども展示され、地元北秋田市民でもなかなか目にする機会のないものも多く、森吉山麓の亀ヶ岡文化や出土品を知る絶好の機会となっています。

特別展が始まった10日、本市から観覧に訪れた森吉地区・根森田の三浦友治さんは、「集落のそばから出たものもあり特別展の開催を聞いて真っ先に

訪れた。地元の人たちにもぜひ見てほしい内容」と、展示品にじっくりと見入っていました。研究センターの藤沼邦彦教授は、「地元でも公開されていないものが多く、森吉山麓で進められてきた発掘調査の実績を知るまたとない機会。北秋田市からも、ぜひたくさんの方にお出でいただきたい」と、観覧をPRしていました。

展示期間は11月10日（金）まで（期間中は無休。公開時間／午前9時〜午後4時）。料金は無料。会場は、弘前市文京町の同大人文学部総合教育棟2階。

【お問合せ】
▽市教育委員会生涯学習課
☎0186-626618

▽弘前大学亀ヶ岡文化研究センター（会期中）
☎0172-393190